

北薩の輝き

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

「させる生徒指導」から「支える生徒指導」へ

指導課長 岡元 照代

令和4年12月、生徒指導提要が改定されて半年以上経過しました。新しい生徒指導提要に示されている「発達支持的生徒指導」とは、どのような生徒指導なのでしょう。

新しい生徒指導提要には、「発達支持的生徒指導」とは、特定の課題を意識することなく、全ての児童生徒を対象に、学校教育目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において求められる基盤と示されています。日常的な児童生徒への挨拶、声掛け、励まし、賞賛、対話など、学級や学校を、どの児童生徒にとっても落ち着ける場に（居場所づくり）、活躍できる場面を計画・準備する（絆づくり）など、児童生徒に向き合う姿勢のことです。

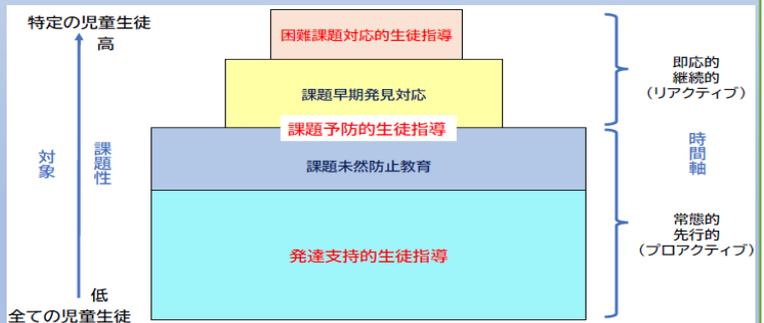
これまで、「頑張ってる。」「すごいね。」などの声掛けは、日常的に多くの場面で実践されていますが、その働きかけの教育的価値は、それほど意識していなかったように感じます。今回、「発達支持的生徒指導」がクローズアップされたのは、それらの日常的な働きかけが、児童生徒が安心して活動できるセーフティマットの役割を果たし、学校や学級の生活によりよく適応し、豊かな人間関係の中で有意義な生活を築けるようにするために重要であると再認識されたからだと考えます。

また、右図の2軸3類4層構造による重層的支援構造も示され、「発達支持的生徒指導」が基盤であることがわかります。特定の児童生徒に焦点化した事後指導・援助（問題行動を改め「させる生徒指導」）から、成長・発達を「支える生徒指導」への転換が求められているのです。

さらに、教科等の指導と生徒指導の一体化した授業づくりの重要性も示されています。授業が全ての児童生徒を対象とした

「発達支持的生徒指導」の場になるからです。

これまで実践してきた「発達支持的生徒指導」の重要性を再認識し、全教職員が、全教育活動を通じ、全児童生徒の自発的かつ主体的な成長発達を支える生徒指導に取り組んでいきましょう。



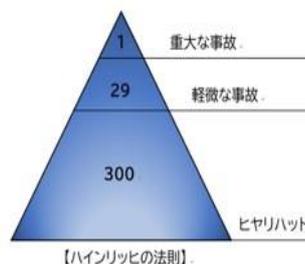
ヒヤリハットから学ぶ

今年度に入って、北薩管内小・中・義務教育学校で

既に7件の児童生徒の交通事故発生の報告を受けています。いずれも重大事故には至っていませんが、いつ重大事故につながってもおかしくない事案ばかりです。

「ハインリッヒの法則」によると、「1件の重大事故の背後には29件の軽微な事故があり、さらにその背後には300件のヒヤリハットが存在する」とあります。

交通事故に限らず、学校内の様々な場所で起こりえるヒヤリハット。そのヒヤリハットを「事故にならずに一安心」で終わらせず、その経験を生かしてヒヤリハットの防止に努めるように、学校での指導に生かしましょう。



地区中学校体育連盟総合体育大会川薩地区(6月6日~8日)、出水地区(6月13日~15日)

中体連総体が実施され、県大会出場を目指した熱戦が繰り広げられました。3年生にとっては、最後の地区大会でした。感染症対策の制限が緩和され、生徒が活躍する場面が増え、顧問の先生方や指導者の指示、保護者の応援が響き渡る光景が戻ってきました。

部活動の地域移行が徐々に進んでいきますが、生徒の運動への意欲や挑戦する気持ち、指導する側の熱意を大事にしながら、整備していきたいものです。



コアスクールプロジェクト

このプロジェクトは、子供の学びの姿を見とり、授業改善につなげることの価値や、教職員集団の同僚性を構築する校内研修のよさを、県下全域に広げ、学力向上につなげていく取組です。

授業改善及び授業力向上を目指した校内研修に先進的に取り組む「コアスクール」と、コアスクールと連携を図り、授業改善を進めていく「エリア推進スクール」を、北薩地区では以下の4校を指定して、校内研修に取り組んでいます。

【コアスクール】 出水市立出水中学校

【エリア推進スクール】 薩摩川内市立平成中学校

さつま町立宮之城中学校・長島町立長島中学校

※ 詳細は、R5「学びの羅針盤」P.8を参照

北薩地区道徳教育研修会

6月23日(金)、阿久根市立脇本小学校、三笠中学校で開催しました。地区内全校から、小学校部会86人、中学校部会35人の参加でした。

脇本小学校は、ICTを活用した対話活動を、三笠中学校は、立場を明確にして対話させる活動を充実させていました。両校とも終末に「脇本タイム」「三笠タイム」として、自らの学びを振り返る活動を行っており、児童生徒が、自己を見つめることで道徳的価値を深めていました。また、学校が一体となり「考え、議論する道徳」に向けての授業改善に取り組んでいました。



北薩地区フレッシュ研修

～教師の学びの姿も子供たちの学びの相似形～

教師自ら「問い」を立て、研修後には、その問いを踏まえて、振り返りをしています。

【研究授業研修:教科等】 令和5年5月31日開催

出水市立米ノ津東小学校及び出水市立高尾野中学校で開催しました。小学校は、第4学年算数科「1けたでわるわり算」、中学校は、第2学年理科「物が燃える変化」の研究授業や授業研究等を通して、授業づくりの基本を学びました。

【他校種参観Ⅰ】 令和5年7月4日開催

高等学校の4人を含む72人が出席し、県立出水特別支援学校で、特別支援教育について、校長講話、協議、施設参観を通して、理解を深めました。



北薩地区人権教育授業実践研修会

5月30日(火)、出水市立高尾野中学校にて、北薩地区人権教育授業実践研修会が開催しました。本研修会は児童生徒一人一人の人権尊重の精神の高揚を図るため、5か年計画で開催しており、2年目の今年度は出水市の小・中・高等学校の先生方24人が講義やグループ協議、授業参観等とおして人権教育への理解を深めました。各学校においては、今後も「人権教育はすべての教育の基本である」ことを念頭に、教育活動全体を通じて、人権尊重の精神に立つ学校づくりを進めていきたいと思います。



合同計画訪問

今年度は、小学校16校、中学校6校、義務教育学校1校を予定しています。1学期の訪問校では児童生徒の元気な挨拶、きれいに整った靴箱や鞆棚、学校の特色や取組が分かる掲示物等、学校の取組の様子がよく分かりました。

授業では、多くの学校がICTを積極的に活用し、個別最適な学び、協働的な学びの実現に向けて、教児一体となり取り組む様子が見られました。



熱い鼓動 風は南から

10月7日から始まる「燃ゆる感動がごしま国体」の期日がいよいよ迫ってきました。北薩地区で開催される正式競技は、ラグビー、弓道等、8競技で熱戦が繰り広げられます。

また、7月29日からはかごしま総文祭も開催されます。

『コロナ禍からの再生』鹿児島の魅力を発信するイベントとして、県民一体となり盛り上げていきましょう。



柏原小運動会1～3年生
表現運動～きばいやんせ～

御覧になりましたか…「信頼される教職員・学校を目指して(R5.6改訂版)」

以下の項目は、今回の改訂で追加されたものの一部です。

- ・ 児童生徒に対して、精神的に追い詰めるような言動等はないですか。
- ・ 昨夜のアルコール、「仮眠をとれば大丈夫」のように考えていませんか。
- ・ 時間や心にゆとりをもった行動を心掛けていますか。

再度、言動等を振り返り、教職員であるという責任と自覚を再確認して、自らの行動を律していきましょう。

信頼される
教職員・学校を
目指して
R5.6改訂版

鹿児島県教育委員会
R5.6改訂版
鹿児島県教育委員会